はじめてのかんさつ いたみのチョウ

伊丹市みどり自然課・伊丹市昆虫館

この本のつかいかた

伊丹にはおよそ50種※のチョウがすんでいます。

この本では「これからかんさつをはじめてみたい！」という方にむけて、伊丹にすむチョウのことや、かんさつのしかたを書きました。きせつのページを見て歩いて、見つけたチョウは色や大きさから名前をしらべることもできます。

この本で、かんさつへの第一歩をふみだそう！

※「種」とは？
「生物の分るいのきじゅんになるたんい」のことです。「しゅるい」といわれることもあります。

もくじ

この本のつかいかた・・・・・・・・・ 1
チョウってなんだろう？・・・・・・・・ 2
かんさつに出かけよう！・・・・・・・・ 3
かんさつおすすめマップ・・・・・・・ 5
春のかんさつ・・・・・・・・・・・・ 7
夏のかんさつ・・・・・・・・・・・・ 9
秋のかんさつ・・・・・・・・・・・・ 11
冬のかんさつ・・・・・・・・・・・・ 13
いたみのチョウぜんぶ！・・・・・・・ 15
大きさくらべ・・・・・・・・・・・・ 17
いたみのチョウリスト（さくいん）・・・ 18
絶滅しそうなチョウ・・・・・・・・・ 19
チョウとガ・・・・・・・・・・・・・ 20
そだちかた・・・・・・・・・・・・・ 21
よう虫いろいろ・さなぎいろいろ・・・ 22

チョウのからだのつくり

チョウってなんだろう？

チョウは昆虫のなかまです。4まいのはねで空をとび、ストローのような口で花のミツや木のじゅえきをすいます。

メスのチョウは、よう虫のエサになる葉（食草）にたまごをうみます。ふ化したよう虫はその葉を食べてそだち、さなぎになり、せい虫になります。

食草は、アゲハはミカンの葉、モンシロチョウはキャベツの葉というように、種によってきまっています。

チョウのなかまわけ

日本のチョウは、大きく5つのなかま（科）に分かれます。

アゲハチョウ科

- 大きなチョウが多い
- 尾状突起があるものも多い

アゲハ

シロチョウ科

- 中ぐらいの大きさ
- はねの色は白や黄色が多い

モンシロチョウ

シジミチョウ科

- 小さい
- オスが青く、メスが黒っぽいことが多い

ヤマトシジミ

タテハチョウ科

- 大きさも、くらしもはねのもようも、さまざま

ツマグロヒョウモン（メス）

セセリチョウ科

キマダラセセリ

- 体が太い
- はねの形が細長い

かんさつに出かけよう！

服そう・持ちもの

● 動きやすく、あぶない生きものや強い日ざしから体を守れる服そうで出かけよう。

あるとべんりなもの

虫かご・虫あみ
つかまえて、くわしくかんさつしよう

ずかん
この本でもいいよ

筆記用具・カメラ
見つけたチョウや気づいたことを記ろくしよう

虫あみのつかいかた

①

チョウがいたら、すばやくあみに入れよう。チョウがあみのおくにいくまで、ふりぬきます。

②

おくまでチョウがはいったら、あみをくるっと回して、にげないように。

上からかぶせたときは、あみをつまみ上げます。チョウが上にあがってくることが多いよ。

まわりの人にぶつけないように気をつけよう。

ちゅうい

- ハチやヘビ、とげのある植物など、あぶない生きものに気をつけよう。
- 他人の花だんや畑、公園のさくの中など、入ってはいけないところに行かないこと。
- つかまえた生きものは、その場ではなそう。（持って帰るときは、さいごまでそだててね。）

かんさつするきせつや時間

- 春と秋
- 晴れの日の朝から昼

はじめての人におすすめのきせつと時間です。さがす場所によって、見られるチョウがちがいます。

さがす場所

草むら

猪名川河川敷
伊丹スカイパーク
など

公園

花だん

木が多いところ

伊丹緑道
昆陽池公園
神社の森など

ここを見てみよう！

花

ベニシジミ

ミツをすいに来るよ

じゅえき

ヒメジャノメ

じゅえきをすいに来るよ

林の道

道にそってとぶチョウがいるよ

水たまり

キアゲハ

水をのみに来るよ

よう虫のエサの葉（食草）

アゲハ

メスがたまごをうみに来るよ

木の葉のうらなど

ウラギンシジミ

かくれたり、雨やどりをしたりしているよ

いたみのチョウ かんさつおすすめマップ

伊丹でチョウをかんさつしやすい場所です。家や学校の近くの公園や花だんでもさがしてみてね。

★ よく見られるチョウや、とく色のあるチョウ

天神川の土手
（伊丹スポーツセンター ～ 荒牧バラ公園）

荒牧バラ公園の近くでは、夏にたくさんのジャコウアゲハが見られます。

★モンシロチョウ、モンキチョウなど

昆陽池公園

木が多いところも花だんもあり、いろいろなチョウが見られます。林では、じゅえきに集まるようすが見られるかも。

★ゴマダラチョウ、コムラサキ、アオスジアゲハ、アゲハ 、クロアゲハなど

笹原公園

ボランティアの人たちが、チョウがすきな花と食草を植えて、チョウをよぶ花だん（バタフライガーデン）を作っています。

★伊丹のチョウはほとんど記ろくあり

荒牧バラ公園
天神川小
荻野小
西池・黒池
鴻池小
伊丹特別支援学校
伊丹スポーツセンター
瑞ケ池公園
伊丹市昆虫館
桜台小
武庫川河川敷
武庫川
伊丹市役所
稲野小
池尻小
花里小
昆陽南公園
昆陽里小
摂陽小
R171
山陽新幹線
笹原小

伊丹緑道
（猪名野神社～緑ケ丘公園～瑞ケ池公園）

伊丹で一番古い林がのこる場所。木が多いところにすむチョウがよく見られます。

★ゴマダラチョウ、ホシミスジ、アゲハ、クロアゲハなど

下河原緑地
エア・フロントオアシス下河原

伊丹空港の近くの草むらには、絶滅危惧種のシルビアシジミが生息しています。

★シルビアシジミ、ヤマトシジミなど

猪名川河川敷

いろいろな生きものがすんでいる草むらです。木が多いところもあります。

★モンキチョウ、キタテハ、ヒメアカタテハなど

おうちや学校にチョウをよぼう！

お庭やプランター、うえ木ばちに、チョウがミツをすう花や、よう虫のエサの植物（食草）を植えてみよう！チョウがやってくるよ。食草は 18 ページでしらべてね。

春のかんさつ

3~5月

冬の間じっとしていたチョウたちは活発にうごきだし、
花のミツをすったり、たまごをうみはじめます。
春いちばんに見られるのはどのチョウかな？

春に見られるアゲハは、夏のアゲハよりも
小さくて白っぽいです。

見られるのは4月のはじめごろだけです。

シロチョウ科 伊丹で見るシロチョウ科５種の見わけかた

	ツマキチョウ	モンシロチョウ	モンキチョウ	キタキチョウ	ツマグロキチョウ
	先がとがる		もようがある ない	まるい	とがる
すきな場所	川の土手	どこでも	草むら	どこでも	川の土手、草むら
時期	4月はじめ～半ば	3～11月	3～11月	6月から次の年の4月	6月から次の年の4月
その他	はねの先は、メスは白	うらが黄色っぽいものもいる	白色のメスもいる	ほかより少し小さい	とてもめずらしい

シジミチョウ科

ヤマトシジミ

ツバメシジミ

シジミチョウ科

いちばんよく見る
シジミチョウです。

オスとメスで、
色がちがうよ

はねの表がわ

オス　メス

タテハチョウ科

テングチョウ

頭にテングみたいな
長い鼻があるように
見えるよ！

春
いちばん

キタキチョウ

シロチョウ科

オス・メスや
きせつによって
見た目がかわる種が
あります。

春
いちばん

モンキチョウ

シロチョウ科

タテハチョウ科

ヒオドシチョウ

シジミチョウ科

白～うす茶色のシジミチョウ科６種の見わけかた

	ヤマトシジミ	シルビアシジミ	ルリシジミ	ツバメシジミ	ウラナミシジミ	クロマダラソテツシジミ
はねのうらの色	白色～はい色	白色～はい色	白色	白色	うす茶色	茶色
尾状突起	ない	ない	ない	ある	ある	ある
その他	いちばん多い	めずらしい	大きめ	多い	大きめ	めずらしい

この２種の見わけかたは、19 ページです

夏のかんさつ

6~8月

夏は草木が元気にそだち、チョウもいろいろな種がとんでいます。暑い昼間は日かげで休んでいるので、朝や夕方のかんさつがおすすめです。

アオスジアゲハ

アゲハチョウ科

住たく地でもよく見かけます。

ナガサキアゲハ

（上がメス、下がオス）

アゲハチョウ科

クロアゲハ

アゲハチョウ科

ジャコウアゲハ

（メス）

アゲハチョウ科

よう虫の臭角（肉角）

アゲハチョウ科のよう虫は、しげきをうけると、むねの先から強いにおいの角をだします。

アゲハ

ミカンの葉を食べるよう虫３種の見わけかた

アゲハチョウ科

アゲハ

オレンジ色

白と緑～青緑色

・つやがない

クロアゲハ

べに色

茶色

・先が白い
・つやがある

ナガサキアゲハ

こいオレンジ色

白色

・緑っぽいつやがある

じゅえきが出る木をさがしてみよう

カナブンやクワガタムシなど、ほかのこん虫もあつまるよ。スズメバチには気をつけて！

こん虫に人気のある木

クヌギ コナラ
ヤナギ アキニレ
など

黒いアゲハチョウの見わけかた

アゲハチョウ科

※ 尾状突起があるナガサキアゲハが生まれることがあります。
　クロアゲハやジャコウアゲハの尾状突起はちぎれて、ないように見えることもあります。
※ 写真はすべてオスですが、メスでもおなじように見わけることができます。

秋のかんさつ
9~11月

まだあたたかい秋のはじめは、たくさんのチョウがとぶ、かんさつにピッタリのきせつです。
寒くなってくると、葉の上でひなたぼっこをしていることも。
午後にはあまりとばなくなります。

2000km以上もいどうした記ろくがある、旅をするチョウ。伊丹には5月と10月に立ちよります。オスはフジバカマの花によくやって来ます。

ガじゃないよ！
はねの広げかたが
ほかのチョウとちがう

黄色が目立つ

後ばねに4つの白い点がまっすぐにならぶ

後ばねの表に白い点がない
（うらには小さな点があるものもいる）

オレンジのはねに黒い点があるので「ヒョウモン」という名前がついています。

後ばねのほとんどが茶色

後ばねはオレンジに黒のもよう

はねのまわりがギザギザしている

オレンジ色の
タテハチョウが
いっぱい！

かれ葉のような色

タテハチョウ科のあしは何本？

4本に見えますが、本当は6本です。

タテハチョウ科のチョウは、2本の前あしがとても小さく、しかもたたんでいるので、4本に見えるのです。

（写真は**ルリタテハ**）

冬のかんさつ
12~2月

チョウは種によって冬をこす すがたがちがいます。
かれ草や木の葉のうらにじっととまってすごす せい虫、
おち葉にかくれてすごす よう虫など、それぞれのすがたで
春がくるのを待っています。

せい虫のすがたで冬をこす

キタキチョウ

シロチョウ科

かれ草の間

ルリタテハ

タテハチョウ科

天気がいい日には
とぶことがあるよ。

ムラサキシジミ

シジミチョウ科

木の葉のかげ

ウラギンシジミ

シジミチョウ科

木の葉のうら

ここも見てみよう

- たて物のかげ
- ベンチの下
- 木のくぼみ

ようちゅうのすがたで冬をこす

さなぎのすがたで冬をこす

冬の間、じっとうごかずに命をつないでいます。

このほかのチョウの冬をこすすがたは、18ページでかくにんしよう

いたみのチョウぜんぶ！

2011年～2021年に伊丹で見つかったチョウです。種の番号は、18ページのリストの番号と同じです。

シロチョウ科
12. ツマキチョウ
13. モンシロチョウ
14. スジグロシロチョウ
15. ツマグロキチョウ
16. キタキチョウ
17. モンキチョウ
シジミチョウ科
18. ウラギンシジミ
19. ムラサキシジミ
20. ムラサキツバメ
21. アカシジミ
22. ミズイロオナガシジミ（うら）
23. トラフシジミ
24. ベニシジミ
25. シルビアシジミ
26. ヤマトシジミ
27. ツバメシジミ
28. ルリシジミ
29. ウラナミシジミ
30. クロマダラソテツシジミ
タテハチョウ科
31. テングチョウ
32. ヒメアカタテハ
33. アカタテハ
34. キタテハ
35. ヒオドシチョウ
36. ルリタテハ
37. ツマグロヒョウモン（左：オス、右：メス）
38. ホシミスジ
39. コミスジ
40. ゴマダラチョウ
41. コムラサキ
42. オオムラサキ
43. ヒメウラナミジャノメ
44. ヒメジャノメ
45. クロコノマチョウ
46. アサギマダラ
セセリチョウ科
47. キマダラセセリ
48. チャバネセセリ
49. イチモンジセセリ

大きさくらべ

チョウの大きさは、種によってだいたいきまっています。
調べるときは、大きさを手がかりにしてみよう。
（このページの写真は、じっさいの大きさです。）

大きさは前ばねの長さであらわしています。

小がた 1～2 cmぐらい

シジミチョウ科
シロチョウ科の小さい種
タテハチョウ科の小さい種
セセリチョウ科

ヤマトシジミ

中がた 2～4 cmぐらい

アゲハチョウ科の小さい種
シロチョウ科
タテハチョウ科

ツマグロヒョウモン
（オス）

大がた 7～8 cmぐらい

アゲハチョウ科
タテハチョウ科の大きい種

ナガサキアゲハ
（メス）

いたみのチョウ リスト（さくいん）

2011年～2021年に伊丹で見つかったチョウです。
種の番号は、15、16ページの写真の番号と同じです。

			伊丹でよく見られる種	見られるきせつ（◎は多いきせつ）				大きさ	よく見られる場所				冬ごしのすがた	幼虫のエサの葉（食草）	でてくるページ
				春	夏	秋	冬		草むら	公園	木が多い所	花だん			
アゲハチョウ科	1	ホソオチョウ※1		○	○	○		中	○	○			さなぎ	ウマノスズクサ	15
	2	ジャコウアゲハ	●	○	○	○		中	○	○	○		さなぎ	ウマノスズクサ	**9**,10,15,22
	3	アオスジアゲハ	●	○	◎	○		中		○	○	○	さなぎ	クスノキ・タブノキ	**9**,14,15,20,22
	4	ミカドアゲハ		○				中			○		さなぎ	オガタマノキ・タイサンボク	15
	5	アゲハ	●	○	◎	◎		中	○	○	○	○	さなぎ	ミカンなどのミカン科植物	2,4,**7**,9,14,15,21,22
	6	キアゲハ	●	○	○	○		中	○	○		○	さなぎ	ニンジン・パセリ	4,15,22
	7	ナガサキアゲハ	●	○	◎	○		大		○	○		さなぎ	ミカンなどのミカン科植物	**9**,10,15,17
	8	モンキアゲハ		○	○	○		大			○		さなぎ	ミカンなどのミカン科植物	15
	9	クロアゲハ	●	○	◎	○		大		○	○		さなぎ	カラスザンショウなどのミカン科植物	**9**,10,15
	10	カラスアゲハ		○	○			大		○	○		さなぎ	カラスザンショウなどのミカン科植物	15
	11	ミヤマカラスアゲハ		○	○			大			○		さなぎ	カラスザンショウなどのミカン科植物	15
シロチョウ科	12	ツマキチョウ	●	○				小	○	○			さなぎ	アブラナ科植物	**7**,16,21
	13	モンシロチョウ	●	◎	◎	○		中	○	○		○	さなぎ	アブラナ科植物	2,**7**,14,16,22
	14	スジグロシロチョウ		○	○	○		中		○	○		さなぎ	アブラナ科植物	16
	15	ツマグロキチョウ		○	○	○	○	小	○				せい虫	カワラケツメイ	7,16,**19**
	16	キタキチョウ	●	◎	○	◎	○	小	○	○	○	○	せい虫	ハギ類・ネムノキなどのマメ科植物	**7**,**8**,**11**,**13**,16,19,22
	17	モンキチョウ	●	○	○	○		中	○	○			よう虫	シロツメクサなどのマメ科植物	7,**8**,16
シジミチョウ科	18	ウラギンシジミ	●	○	○	◎	○	小		○	○		せい虫	フジ・クズなどのマメ科植物	4,**13**,16,22
	19	ムラサキシジミ	●		○	○	○	小		○	○		せい虫	アラカシなどのブナ科植物	**13**,16,22
	20	ムラサキツバメ			○	○	○	小			○		せい虫	マテバシイなどのブナ科植物	16
	21	アカシジミ			○			小			○		たまご	コナラなどのブナ科植物	16
	22	ミズイロオナガシジミ			○			小			○		たまご	クヌギなどのブナ科植物	16
	23	トラフシジミ		◎	○			小	○	○	○		さなぎ	フジ・クズ・リンゴ・ウツギなど	16
	24	ベニシジミ	●	○	○	◎		小	○	○		○	よう虫	スイバ・ギシギシなどのタデ科植物	4,**10**,16
	25	シルビアシジミ	●	○	◎	○		小	○				よう虫	シロツメクサ（伊丹では）	8,16,**19**
	26	ヤマトシジミ	●	○	○	◎		小	○	○		○	よう虫	カタバミ	2,**8**,16,17,19,22
	27	ツバメシジミ	●	○	◎	○		小	○	○		○	よう虫	レンゲソウなどのマメ科植物	**8**,16
	28	ルリシジミ		○	○	○		小	○	○	○		さなぎ	マメ科・バラ科・ブナ科・ヤナギ科	8,16
	29	ウラナミシジミ	●			◎		小	○	○		○	していない※2	エンドウなどのマメ科植物	8,11,16
	30	クロマダラソテツシジミ	●			◎		小		○			ふめい※3	ソテツ	8,16
タテハチョウ科	31	テングチョウ	●	◎		○	○	小		○	○		せい虫	エノキ	**8**,16,20,22
	32	ヒメアカタテハ	●	○		◎	○	中	○	○		○	せい虫	ヨモギ・カラムシなど	**12**,16,22
	33	アカタテハ	●	○	○	◎	○	中	○	○			せい虫	カラムシ・イラクサ	**12**,16
	34	キタテハ	●	○	○	◎	○	中	○	○			せい虫	カナムグラ	**12**,**14**,16
	35	ヒオドシチョウ			○	○	○	中			○		せい虫	エノキ	**8**,16
	36	ルリタテハ	●	○	◎	○	○	中		○	○		せい虫	サルトリイバラ・ホトトギス	**10**,12,**13**,16,22
	37	ツマグロヒョウモン	●	○	○	◎		中	○	○		○	よう虫	スミレ科植物	2,**12**,14,16,17,**21**,22
	38	ホシミスジ	●		◎			中		○		○	よう虫	ユキヤナギ・コデマリ	**10**,16,22
	39	コミスジ		○	○	○		中			○		よう虫	フジなどのマメ科植物	16
	40	ゴマダラチョウ	●	○	◎			中		○	○		よう虫	エノキ	**10**,14,16,22
	41	コムラサキ		○	◎			中			○		よう虫	ヤナギ科植物	**10**,16
	42	オオムラサキ			○			大			○		よう虫	エノキ	16
	43	ヒメウラナミジャノメ		○	○	○		小	○				よう虫	イネ科・カヤツリグサ科	16
	44	ヒメジャノメ	●	○	◎	◎		中		○	○		よう虫	イネ科・カヤツリグサ科	4,**10**,16,20
	45	クロコノマチョウ	●			◎	○	中			○		せい虫	ススキ・ジュズダマ・ヨシ	**12**,16,20
	46	アサギマダラ	●	○		◎		大		○		○	よう虫	キジョラン・イケマ	**11**,16,22
セセリチョウ科	47	キマダラセセリ	●	○	○			小	○	○		○	よう虫	アズマネザサなどのイネ科植物	2,**11**,16
	48	チャバネセセリ	●	○	○	◎		小	○	○		○	よう虫	チガヤなどのイネ科植物	**11**,16,20
	49	イチモンジセセリ	●	○	○	○		小	○	○		○	よう虫	イネなどのイネ科植物	**11**,16

※1　生態系被害防止外来種リストで、重点対策外来種に指定されています。
※2　九州から関東の海ぞいより南では冬ごししますが、伊丹では冬ごしをしていないようです。
※3　南西諸島では一年中みられますが、伊丹での冬ごしのすがたはわかっていません。

絶滅しそうなチョウ

日本から絶滅しそうなチョウが伊丹にもくらしています。

ツマグロキチョウ

シロチョウ科

伊丹では2007年に35年ぶりに見つかりました。
よう虫が食べるカワラケツメイという草がへっていて、絶滅がしんぱいです。

【生息地】 猪名川河川敷など
【時期】 6月～次の年の4月

食草のカワラケツメイ

じっさいの大きさ

とがる

まるい

キタキチョウ
（前ばね）

キタキチョウと見わけるポイント

- 前ばねの先の形
- 後ばねのうらのもよう

シルビアシジミ

シジミチョウ科

伊丹のシルビアシジミのとくちょうは、よう虫がシロツメクサを食べることです。
（ほかの地いきではミヤコグサを食べます。）
今のところ、毎年たくさんとんでいます。

【生息地】 伊丹空港やその近くの草むら
【時期】 4月～11月

じっさいの大きさ

こんな草むらにすんでいます

食草のシロツメクサ

よう虫

ヤマトシジミと見わけるポイント

黒い点が丸くならぶ

上から2番目の点が内がわにずれる

ヤマトシジミ

シルビアシジミ

生息地をうしなったり数が少なくなったりして、日本から絶滅してしまいそうな動植物をまとめた、環境省レッドリストがあります。このページのチョウは、そのなかで「絶滅危惧ⅠB類（近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの）」にえらばれています。

どこがちがう？
チョウとガ

下の写真のうち、4ひきはチョウで、5ひきはガです。
どれがチョウかわかるかな？

こたえ
【チョウ】④ヒメジャノメ ⑤クロコノマチョウ ⑥テングチョウ ⑨チャバネセセリ
【ガ】①アケビコノハ ②ウメエダシャク ③オオスカシバ ⑦カノコガ ⑧ユウマダラエダシャク

見わけるのはむずかしい！ どちらもチョウのなかまです。

「チョウは昼にとぶ、はねをとじてとまる」「ガは夜にとぶ、はねを広げてとまる」などと、よくいわれますが、**当てはまらないものもたくさんいます。**チョウとガは同じ「チョウのなかま（チョウ目）」なので、見わけるのはとてもむずかしいのです。

チョウ目 6250種

日本のチョウ目はおよそ6250種。そのうち、およそ250種がチョウで、6000種がガです。

見わけたいときはしょっ角の形に注目しよう

そだちかた

チョウは、たまご→よう虫→さなぎ→せい虫のじゅんばんにすがたをかえてそだちます。すがたがかわると、生活もかわります。

ツマグロヒョウモンのそだちかた

たまご

ふ化

よう虫

エサの葉（食草）をたくさん食べて、皮をぬいで（だっ皮）、大きくなります。
ほとんどの種は、さなぎになるまでに4回、だっ皮します。

よう化

さなぎ

さなぎの中で、せい虫の体をつくっています。
はねやあし、口などが少しずつできあがります。

さわるとうごくよ

羽化

せい虫

なかまやエサ、たまごをうむ植物などをさがしてくらします。
交尾してたまごをうみます。

さんらん

ツマグロヒョウモンのよう虫は、ビオラやスミレの葉を食べるよ

チョウは1年に何回生まれるでしょう？

1回だけのチョウも、4～5回も生まれるチョウもいます

種によってちがうよ

よう虫いろいろ

ようちゅうには、けがたくさんはえているもの、けがないように見えるものなど、いろいろなすがたがあります。

●アオスジアゲハ

くり返しだっぴして
どんどん大きくなる

●アゲハ

だっぴして、色やもようがかわる種があります

●ジャコウアゲハ

アゲハチョウ科のようちゅうは、むねの先からくさい角（臭角）をだす

●キアゲハ

●ヤマトシジミ

●モンシロチョウ

●キタキチョウ

●テングチョウ

●ゴマダラチョウ

●ウラギンシジミ

●アサギマダラ

●ヒメアカタテハ

ヨモギの葉に、くるまっている

●ルリタテハ

●ホシミスジ

しげきをうけると、おしりの角から花火のようなものをだす

さなぎいろいろ

さなぎのくっつき方には、2しゅるいあります。

1. 帯蛹

体にまわした糸とおしりで葉やえだにくっつくさなぎ

アゲハチョウ科、シロチョウ科、シジミチョウ科、セセリチョウ科

●アゲハ　●アオスジアゲハ　●ジャコウアゲハ

●ムラサキシジミ

●キタキチョウ

2. 垂蛹

おしりの先でくっついてぶら下がるさなぎ

タテハチョウ科

●アサギマダラ

●ツマグロヒョウモン

●ヒメアカタテハ

●ゴマダラチョウ

チョウのことをもっと知りたくなったら伊丹市昆虫館に行ってみよう！

伊丹市昆虫館

【所在地】　兵庫県伊丹市昆陽池 3-1
【開館時間】9 時 30 分～ 16 時 30 分（入館受付は 16 時 00 分まで）
【休館日】　火曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始、その他臨時休館あり
【入館料】　大人 400 円、中高生 200 円、3 歳～小学生 100 円

伊丹市昆虫館

制作　伊丹市みどり自然課（松岡利奈、原田修）
　　伊丹市昆虫館（角正美雪、坂本昇）
写真協力　井上治彦、片山俊治、堺勝重、伊丹市昆虫館
デザイン原案　いきものパレット

はじめてのかんさつ いたみのチョウ

発行日　2023 年 3 月 15 日　　4 都 306-1-062A5
制作・編集　伊丹市みどり自然課、伊丹市昆虫館
発行者　伊丹市都市交通部みどり公園室みどり自然課
〒 664-8503 兵庫県伊丹市千僧 1 丁目 1 番地 電話 072-780-3521（直通）

伊丹市

【注意事項】本書を無断で転載・複製することを禁じます。
使用を希望される場合は、伊丹市みどり自然課までお問い合わせください。

上か下のまるにあなをあけて、
ひもをとおすと便利です